

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 11 月 10 日 (2005.11.10)

【公開番号】特開 2002-139621 (P2002-139621A)

【公開日】平成 14 年 5 月 17 日 (2002.5.17)

【出願番号】特願 2000-323189 (P2000-323189)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 2 B 5/30

C 0 8 J 5/18

C 0 8 K 5/3492

C 0 8 L 1/12

G 0 2 F 1/1335

G 0 2 F 1/13363

// (C 0 8 L 1/12

C 0 8 L 75:06)

【F I】

G 0 2 B 5/30

C 0 8 J 5/18 C E P

C 0 8 K 5/3492

C 0 8 L 1/12

G 0 2 F 1/1335 5 1 0

G 0 2 F 1/13363

C 0 8 L 1/12

C 0 8 L 75:06

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 16 日 (2005.9.16)

【手続補正 1】

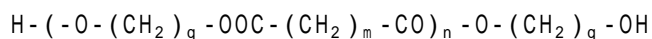
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】前記のセルロースアセテートフィルムが、セルロースアセテート 10 質量部に対して、さらにポリエステルウレタンを 0.1 乃至 30 質量部含み、ポリエステルウレタンが、下記一般式で表されるポリエステルとジイソシアナートとの反応物であることを特徴とする請求項 3 に記載の光学補償シート：



[式中、q は、2 乃至 4 の整数を表し；m は、2 乃至 4 の整数を表し；n は、1 乃至 10 の整数を表す]。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(3) 酢化度が 59.0 乃至 61.5 % の範囲にあるセルロースアセテート、およびセルロースアセテート 100 質量部に対して、少なくとも二つの芳香族環を有する芳香族化合物を 0.01 乃至 20 質量部含み、そして厚みが 10 乃至 70 μm の範囲にあるセルロースアセテートフィルム上に、液晶性化合物から形成された光学異方性層が設けられてな

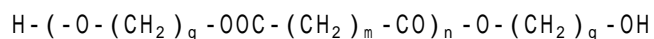
り、セルロースアセテートフィルムの下記式(Ⅰ)により定義されるReレターデーション値が20乃至70nmの範囲にあり、そして下記式(Ⅱ)により定義されるRthレターデーション値が70乃至400nmの範囲にあることを特徴とする光学補償シート。

$$(Ⅰ) \quad R_e = (n_x - n_y) \times d$$

$$(Ⅱ) \quad R_{th} = \{ (n_x + n_y) / 2 - n_z \} \times d$$

式中、 n_x は、フィルム面内の遅相軸方向の屈折率であり； n_y は、フィルム面内の進相軸方向の屈折率であり； n_z は、フィルムの厚み方向の屈折率であり；そして、 d は、フィルムの厚さである。

(4) 前記のセルロースアセテートフィルムが、セルロースアセテート100質量部に対して、さらにポリエステルウレタンを0.1乃至30質量部含み、ポリエステルウレタンが、下記一般式で表されるポリエステルとジイソシアナートとの反応物であることを特徴とする(3)に記載の光学補償シート：



式中、 q は、2乃至4の整数を表し； m は、2乃至4の整数を表し； n は、1乃至100の整数を表す。